

産業人材育成センター倉吉校 バリアフリー化工事 (機械設備)

図面目録

図面No.	図面名称	縮尺
M-1	図面目録	—
M-2	機械設備工事特記仕様書(1)	—
M-3	機械設備工事特記仕様書(2)	—
M-4	付近見取図・敷地配置図	1:400
M-5	本館棟 換気設備 改修後 1階平面図	1:100
M-6	本館棟 換気設備 改修後 2、3階平面図	1:100
M-7	本館棟 給排水衛生設備 改修後 器具表、排水樹リスト	—
M-8	本館棟 給排水衛生設備 改修後 屋外平面図	1:100
M-9	本館棟 給排水衛生設備 改修後 1階平面詳細図	1:50
M-10	本館棟 給排水衛生設備 改修後 2、3階平面詳細図	1:50
M-11	本館棟 換気・衛生設備 撤去 1階、屋外平面図	1:100
M-12	本館棟 仮設工事 屋外平面図(排水)	1:100



機械設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1 工事場所 倉吉市福庭町二丁目

2 建物概要

Table with columns: 番号, 建物名称, 構造, 階数, 建築基準法による延べ面積 (㎡), 消防法施行令別表第一の区分, 備考

3 工事種目 (印の付いたものが対象工事種目)

Table with columns: 工事種目, 番号, 1, 2, 3, 4, 5, 屋外, 備考

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

Table with columns: 項目, 設備概要

II. 特記仕様

1 一般事項

- (1) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書等のうち、
(2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事整理指針(令和4年版)」(以下「整理指針」という。)を適用する。
(3) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び整理指針を適用する。

2 特記事項

- (1) 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項のうち選択する事項は◎印の付いたものを適用する。
(3) 一般共通事項のうち(1、2、3、11、12、14、15、16、17、18、36)項は、●建築 ●電気設備 工事特記仕様書による。

Table with columns: 項目, 特記事項

一般共通事項

13 完成図等

Table with columns: 区分, 名称, 部数

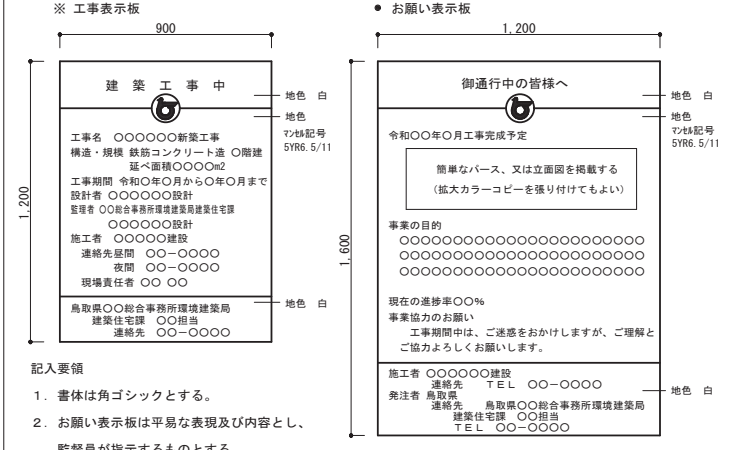
14 他工事との取合

Table with columns: 他工事との取り合い, 建築, 電気設備, 機械設備

15 工事用水・電力・その他

本工事に必要な工事用水、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。

16 表示板



17 足場

「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

18 工事用仮設物

構内に作ることが ※ 出来る ● 出来ない

19 土工事

(ア) 埋め戻し土 ◎ 根切土のなかの良質土 (● コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) ● 山砂の類 () ● 真砂土 ()

20 保温工事

- 冷温水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)
● 蒸気管 (● ロックウール ● グラスウール ●)
◎ 給水管 (● ロックウール ◎ グラスウール ◎ ポリスチレンフォーム)
● 保温チューブ ()
◎ 排水管 (● ロックウール ◎ グラスウール ● ポリスチレンフォーム ● 保温チューブ (厚さ◎10))
● 給湯管 (● ロックウール ● グラスウール ● 保温チューブ (厚さ◎))
● 消火管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)
● ダクト (● ロックウール ● グラスウール ●)
● 燃焼熱源等機械室内の配管 (● ロックウール ● グラスウール)
● 全熱交換機の給気ダクト (● 機器外気側 ● 機器室内側) は保温 (グラスウール2.5mm厚) する
● 冷媒管の保温外装 屋内 (● 樹脂製化粧ケース ● 合成樹脂製シート ●)
屋外 (● 樹脂製化粧ケース ● SUS鋼板 ●)

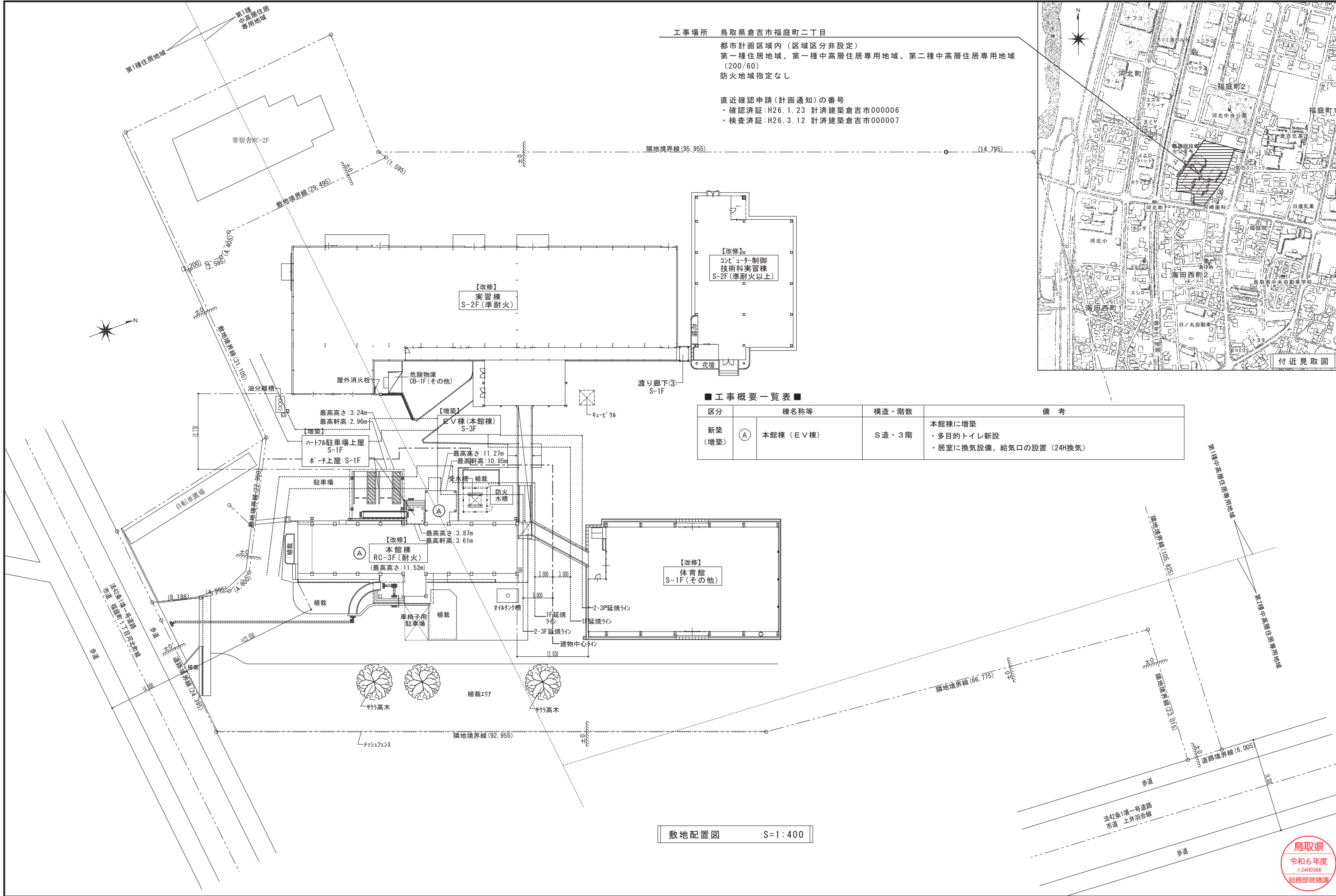


Table with columns: 附記, 設計年月日

(有)フジイ総合設計事務所 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689

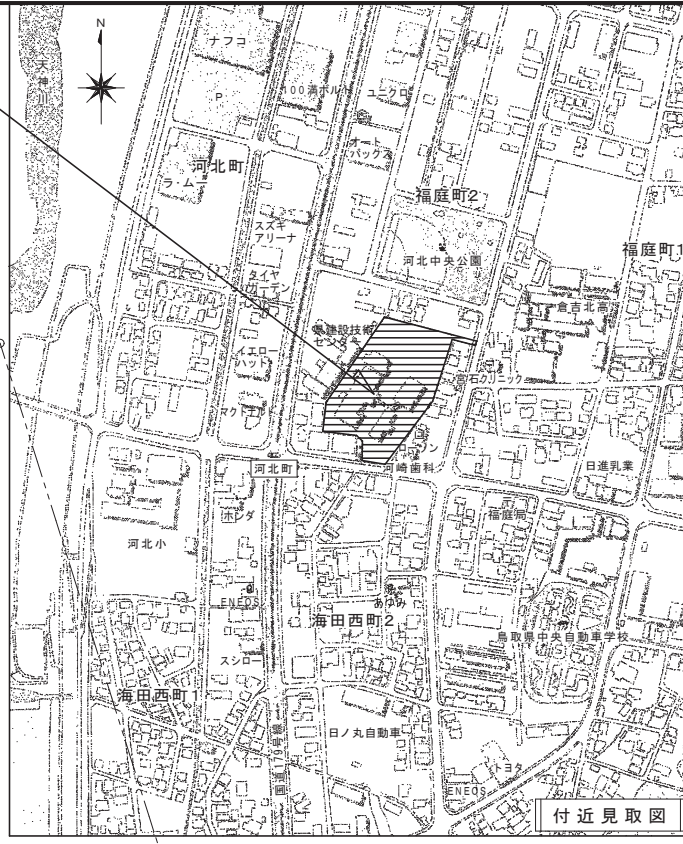
Table with columns: 名称, 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(機械設備), SCALE, 図面No. M-2, 12枚の内

<p>一般共通事項</p> <p>21 鋼管類の防食処置</p> <p>22 絶縁継手</p> <p>23 防振継手</p> <p>24 伸縮管継手</p> <p>25 塗装</p> <p>26 ステンレス鋼管の接合方法</p> <p>27 溶接配管の検査</p> <p>28 埋設表示</p> <p>29 支持金物・固定金具</p> <p>30 総合試運転調整</p> <p>31 アスベスト含有建材の処理</p> <p>32 補修など</p> <p>33 はつり</p> <p>34 はつり工事における非破壊検査</p> <p>35 室内空気中の化学物質の濃度測定</p> <p>36 火災保険等</p> <p>37 グリーン購入</p> <p>38 鳥取県公共工事環境配慮指針</p> <p>39 建築物省エネ法</p> <p>40 耐震施工</p>	<p>地中埋設</p> <ul style="list-style-type: none"> ベトロラタム系 フチルゴム系 熱収縮チューブ及びシート <ul style="list-style-type: none"> 標準図（施工3） (1)絶縁フランジ (2)絶縁シート (3)絶縁スリーブ (4)絶縁ユニオン <p>※ 合成ゴム製（球形）</p> <ul style="list-style-type: none"> ポリテトラフルオロエチレン製 ペローズ形（ステンレス製） <p>※ ペローズ形</p> <ul style="list-style-type: none"> スリーブ形 <p>各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。（さび止め塗装は除く。）</p> <p>(ア)埋設されるもの（ただし、防食塗装部分を除く）</p> <p>(イ)垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面</p> <p>(ウ)垂鉛めっきされたもので、常時隠へいされる部分</p> <p>(エ)垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類</p> <p>(オ)樹脂コーティング等をしたもので、常時隠へいされる部分</p> <p>(カ)カラー垂鉛鉄板面</p> <p>(キ)アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウム-垂鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面</p> <p>(ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面</p> <p>(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の垂鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管</p> <ul style="list-style-type: none"> 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所 <p>呼び径60Sφ以下の継手は、SAS322を満足するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ガス配管 冷水配管 冷却水配管 <p>非破壊検査の適用</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射線透過検査 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 <p>抜取率</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準仕様書による % <p>地中埋設標を明示する箇所に設ける。</p> <p>埋設表示用テープを埋設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ガス管 屋外給水管 <p>ポンプ、屋外設置機器及びビット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。</p> <p>屋外及びビット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融垂鉛めっき仕上げとする。</p> <p>下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 温度 湿度 風量 騒音 水量 浄化槽放流水質 風速 じんあい 飲料水水質 一般飲料水適否検査 残留塩素測定 <ul style="list-style-type: none"> その他水質等 雑用水 空調用流体 <p>公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>県有施設石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。</p> <p>官公署その他への手続きは、同じ仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。</p> <p>施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。</p> <p>分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。</p> <ul style="list-style-type: none"> アスベスト粉じん濃度測定を行う。 <p>測定時期： 測定場所： 測定点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。 <p>対象箇所（土木システム科、土木建築科）</p> <p>工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にないらひ補修する。</p> <p>既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>探査方法 ※電磁誘導式</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射線透過検査 <p>工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等にも加入する。</p> <p>（保険の加入期限は、工事完成引渡しまで〔概ね工期+21日〕とする。）</p> <p>グリーン購入は次のものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 空調用機器 衛生器具 洋風便器 断熱材 配管材 再生硬質ポリ塩化ビニル管 その他 	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲							<p>1 設計用温湿度条件</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="2">外気条件</th> <th colspan="4">室内（調整目標値）</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">一般</th> <th colspan="2">（ ）</th> </tr> <tr> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> </tr> <tr> <th></th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> </tr> <tr> <th>夏季</th> <td></td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <th>冬季</th> <td></td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </table> <p>2 冷却水管</p> <p>3 冷水・温水・冷温水管</p> <p>4 膨張・空気抜・補給水管</p> <p>5 蒸気給気管</p> <p>6 蒸気温水管</p> <p>7 油・油用通気管</p> <p>8 冷媒管</p> <p>9 空調用給水管</p> <p>10 空調用排水管</p> <p>11 弁類</p> <p>12 ファンコイルユニット</p> <p>13 ダンパー</p> <p>14 ダクト</p> <p>15 吹出口・吸込口</p> <p>16 チャンパー等</p> <p>17 消音内貼り</p> <p>18 瞬間流量計及び流量測定口</p> <p>19 定風量・変風量ユニット</p> <p>20 温度計</p> <p>21 冷水管の空気抜き</p> <p>22 空調機用トラップ</p> <p>23 銅板製煙道</p> <p>24 オイルサーピスタック</p> <p>25 地下オイルタンク</p> <p>26 油面制御装置</p> <p>27 フィルター等付属品</p> <p>28 パッケージ空調機の能力表示</p> <p>29 防振吊り及び支持金物</p> <p>30 防振吊り及び支持金物</p> <p>31 防振吊り及び支持金物</p> <p>32 防振吊り及び支持金物</p> <p>33 防振吊り及び支持金物</p> <p>34 防振吊り及び支持金物</p> <p>35 防振吊り及び支持金物</p> <p>36 防振吊り及び支持金物</p> <p>37 防振吊り及び支持金物</p> <p>38 防振吊り及び支持金物</p> <p>39 防振吊り及び支持金物</p> <p>40 防振吊り及び支持金物</p>		外気条件		室内（調整目標値）						一般		（ ）		温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度		(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	夏季		℃	%	℃	%	℃	%	冬季		℃	%	℃	%	℃	%	<p>⑥ 衛生器具設備</p> <p>① 衛生器具の参考型番</p> <p>2 小便器用節水装置</p> <p>③ 自動水栓</p> <p>4 大便器洗浄弁</p> <p>⑤ 温水洗浄便座</p> <p>⑥ 器具と排水管接続</p> <p>⑦ 給水設備</p> <p>② 配管材料</p> <p>③ 弁類</p> <p>4 水槽のマンホール</p> <p>⑧ 排水設備</p> <p>① 配管材料</p> <p>② 満水試験継手</p> <p>③ バイパスシャフト内配管の保温</p> <p>4 煙試験</p> <p>9 給湯設備</p> <p>2 弁類</p> <p>10 消火設備</p> <p>1 都市ガス設備</p> <p>2 配管材料</p> <p>3 ガスメータ</p> <p>4 バルク貯槽</p> <p>5 容器廻りの配管</p> <p>6 容器転倒防止</p> <p>7 ガス漏れ警報器</p> <p>11 ガス設備</p> <p>12 浄化槽設備</p>	<p>型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小便器一体型 小便器分離型 <ul style="list-style-type: none"> 洗浄水量4リットル/回以下 個別感知方式 AC電源 自己発電 乾電池 <p>手動式</p> <p>電源供給方式</p> <ul style="list-style-type: none"> AC電源 自己発電 乾電池 <p>操作方式</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気開閉式 センサー式 タッチスイッチ式 <p>手動式</p> <p>洗浄用加水方式</p> <ul style="list-style-type: none"> 瞬間式 貯湯式 <p>標準図（施工64）</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準図（施工65） <p>1 量水器</p> <ul style="list-style-type: none"> 親メーター 借用 買取 直読 遠隔表示 <ul style="list-style-type: none"> 子メーター 買取 借用 直読 遠隔表示 <p>(ア)一般配管</p> <ul style="list-style-type: none"> SGP-VB SGP-PB SUS304 SUS316 HIVP 架橋ポリエチレン管 SGP-VA（井水） <p>(イ)土間下配管</p> <ul style="list-style-type: none"> SGP-VD SGP-PD HIVP SUS304 SUS316 <p>(ウ)地中配管</p> <ul style="list-style-type: none"> SGP-VD SGP-PD HIVP SUS304 SUS316 水道配水用ポリエチレン管（75〜100A） 水道用ポリエチレン二層管（50A以下） <p>(エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。</p> <p>(オ)ビニル管の接合方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 接着接合 ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。） <p>(カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下</p> <ul style="list-style-type: none"> 金属製継手 融着継手 75A以上 融着継手 <ul style="list-style-type: none"> 口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。 <ul style="list-style-type: none"> 5K（受水槽以降の配管に使用） 10K（公営水道に直結する配管に使用） 公営水道事業者指定の止水栓又は弁（給水引込部に使用） <p>屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形（二重蓋含む）とする。</p> <p>(ア)屋内汚水管</p> <ul style="list-style-type: none"> VP RF-VP 排水用塩ビライニング鋼管 耐火二層管 <p>(イ)屋外排水管</p> <ul style="list-style-type: none"> VP RF-VP SGP（白） 排水用塩ビライニング鋼管 耐火二層管 <p>(ウ)ポンプ排水管</p> <ul style="list-style-type: none"> VP（水道用） HIVP 排水用塩ビライニング鋼管（圧送排水管用継手） <p>(エ)通気管</p> <ul style="list-style-type: none"> VP RF-VP SGP（白） 排水用塩ビライニング鋼管 耐火二層管 <p>(オ)屋外排水管</p> <ul style="list-style-type: none"> VP RF-VP VU（地中） REP-VU（地中） RS-VU 卵形管 コンクリート管 <p>3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を</p> <ul style="list-style-type: none"> 取付ける 取付けない <p>※ 施工する</p> <ul style="list-style-type: none"> 施工しない <p>※ 行わなくてもよい</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示の系統のみ行う <p>4 煙試験</p> <ul style="list-style-type: none"> SGP-HVA ステンレス鋼管 架橋ポリエチレン管 保温付被覆鋼管 鋼管 <p>湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 5K 10K <p>(ア)一般配管</p> <ul style="list-style-type: none"> SGP（白） STPG <p>(イ)土間下配管</p> <ul style="list-style-type: none"> SGP-VS STPG-VS <p>(ウ)地中配管</p> <ul style="list-style-type: none"> SGP-VS STPG-VS 10K 16K <p>(ア)呼水タンク</p> <ul style="list-style-type: none"> 施工しない 施工する <p>(イ)充水タンク</p> <ul style="list-style-type: none"> 施工しない 施工する <p>(ウ)配管の保温は次による。（屋外露出箇所は種別e・3・（ハ）・Ⅶによる）</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋内消火栓用 スプリンクラー用 連結送水用 連結放水用 <ul style="list-style-type: none"> 広範囲型2号消火栓 易操作性1号消火栓 屋内消火栓 1号 2号 <ul style="list-style-type: none"> 窒素 IG-541 IG-55 HFC-227ea HFC-23 <p>※ 手動</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動手動切替式 <p>都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。</p> <p>(ア)一般配管</p> <ul style="list-style-type: none"> SGP（白） 合成樹脂被覆鋼管 <p>(イ)土間下配管</p> <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂被覆鋼管 <p>(ウ)地中配管</p> <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂被覆鋼管 ガス用ポリエチレン管 <ul style="list-style-type: none"> 親メーター 借用 買取 取付け 別途 本工事 <ul style="list-style-type: none"> 子メーター 買取 借用 取付け 本工事 別途 <ul style="list-style-type: none"> 縦型 横型 借用 買取 <p>標準図（施工73）の</p> <ul style="list-style-type: none"> 要領（a） 要領（b） 要領（c） <p>標準図（施工74）の</p> <ul style="list-style-type: none"> 要領（a） 要領（b） <ul style="list-style-type: none"> 不要 要 別途工事 本工事 <p>小規模合併処理</p> <ul style="list-style-type: none"> 分離接触ばつ気方式 嫌気床接触ばつ気方式 脱窒ろ床接触ばつ気方式 その他性能評価を受けた方式 <p>合併処理</p> <ul style="list-style-type: none"> 接触ばつ気方式 長時間ばつ気方式 回転板接触方式 <ul style="list-style-type: none"> ユニット型 現場施工型 <p>処理対象人員</p> <ul style="list-style-type: none"> 処理水量 m3/d <ul style="list-style-type: none"> 流入BOD 200mg/L 放流水質BOD 20mg/L以下 <ul style="list-style-type: none"> T-N mg/L以下 T-P mg/L以下 <p>※ 自然流下</p> <ul style="list-style-type: none"> ポンプ排水 <ul style="list-style-type: none"> 砂 根切土の中の良質土 <ul style="list-style-type: none"> 不要 要 図示による <p>土留め工事</p> <ul style="list-style-type: none"> マンホールふた MHA型（ボルト式） <p>※ 製造者標準仕様（ロック式）</p> <p>3ヶ月相当分を納入する。</p>
	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																																				
		外気条件		室内（調整目標値）																																																			
				一般		（ ）																																																	
		温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度																																																
		(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)																																																
	夏季		℃	%	℃	%	℃	%																																															
	冬季		℃	%	℃	%	℃	%																																															
<p>21 鋼管類の防食処置</p> <p>22 絶縁継手</p> <p>23 防振継手</p> <p>24 伸縮管継手</p> <p>25 塗装</p> <p>26 ステンレス鋼管の接合方法</p> <p>27 溶接配管の検査</p> <p>28 埋設表示</p> <p>29 支持金物・固定金具</p> <p>30 総合試運転調整</p> <p>31 アスベスト含有建材の処理</p> <p>32 補修など</p> <p>33 はつり</p> <p>34 はつり工事における非破壊検査</p> <p>35 室内空気中の化学物質の濃度測定</p> <p>36 火災保険等</p> <p>37 グリーン購入</p> <p>38 鳥取県公共工事環境配慮指針</p> <p>39 建築物省エネ法</p> <p>40 耐震施工</p>	<p>地中埋設</p> <ul style="list-style-type: none"> ベトロラタム系 フチルゴム系 熱収縮チューブ及びシート <ul style="list-style-type: none"> 標準図（施工3） (1)絶縁フランジ (2)絶縁シート (3)絶縁スリーブ (4)絶縁ユニオン <p>※ 合成ゴム製（球形）</p> <ul style="list-style-type: none"> ポリテトラフルオロエチレン製 ペローズ形（ステンレス製） <p>※ ペローズ形</p> <ul style="list-style-type: none"> スリーブ形 <p>各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。（さび止め塗装は除く。）</p> <p>(ア)埋設されるもの（ただし、防食塗装部分を除く）</p> <p>(イ)垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面</p> <p>(ウ)垂鉛めっきされたもので、常時隠へいされる部分</p> <p>(エ)垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類</p> <p>(オ)樹脂コーティング等をしたもので、常時隠へいされる部分</p> <p>(カ)カラー垂鉛鉄板面</p> <p>(キ)アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウム-垂鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面</p> <p>(ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面</p> <p>(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の垂鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管</p> <ul style="list-style-type: none"> 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所 <p>呼び径60Sφ以下の継手は、SAS322を満足するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ガス配管 冷水配管 冷却水配管 <p>非破壊検査の適用</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射線透過検査 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 <p>抜取率</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準仕様書による % <p>地中埋設標を明示する箇所に設ける。</p> <p>埋設表示用テープを埋設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ガス管 屋外給水管 <p>ポンプ、屋外設置機器及びビット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。</p> <p>屋外及びビット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融垂鉛めっき仕上げとする。</p> <p>下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 温度 湿度 風量 騒音 水量 浄化槽放流水質 風速 じんあい 飲料水水質 一般飲料水適否検査 残留塩素測定 <ul style="list-style-type: none"> その他水質等 雑用水 空調用流体 <p>公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>県有施設石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。</p> <p>官公署その他への手続きは、同じ仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。</p> <p>施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。</p> <p>分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。</p> <ul style="list-style-type: none"> アスベスト粉じん濃度測定を行う。 <p>測定時期： 測定場所： 測定点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。 <p>対象箇所（土木システム科、土木建築科）</p> <p>工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にないらひ補修する。</p> <p>既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>探査方法 ※電磁誘導式</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射線透過検査 <p>工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等にも加入する。</p> <p>（保険の加入期限は、工事完成引渡しまで〔概ね工期+21日〕とする。）</p> <p>グリーン購入は次のものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 空調用機器 衛生器具 洋風便器 断熱材 配管材 再生硬質ポリ塩化ビニル管 その他 	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲							<p>1 設計用温湿度条件</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="2">外気条件</th> <th colspan="4">室内（調整目標値）</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">一般</th> <th colspan="2">（ ）</th> </tr> <tr> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> </tr> <tr> <th></th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> </tr> <tr> <th>夏季</th> <td></td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <th>冬季</th> <td></td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </table> <p>2 冷却水管</p> <p>3 冷水・温水・冷温水管</p> <p>4 膨張・空気抜・補給水管</p> <p>5 蒸気給気管</p> <p>6 蒸気温水管</p> <p>7 油・油用通気管</p> <p>8 冷媒管</p> <p>9 空調用給水管</p> <p>10 空調用排水管</p> <p>11 弁類</p> <p>12 ファンコイルユニット</p> <p>13 ダンパー</p> <p>14 ダクト</p> <p>15 吹出口・吸込口</p> <p>16 チャンパー等</p> <p>17 消音内貼り</p> <p>18 瞬間流量計及び流量測定口</p> <p>19 定風量・変風量ユニット</p> <p>20 温度計</p> <p>21 冷水管の空気抜き</p> <p>22 空調機用トラップ</p> <p>23 銅板製煙道</p> <p>24 オイルサーピスタック</p> <p>25 地下オイルタンク</p> <p>26 油面制御装置</p> <p>27 フィルター等付属品</p> <p>28 パッケージ空調機の能力表示</p> <p>29 防振吊り及び支持金物</p> <p>30 防振吊り及び支持金物</p> <p>31 防振吊り及び支持金物</p> <p>32 防振吊り及び支持金物</p> <p>33 防振吊り及び支持金物</p> <p>34 防振吊り及び支持金物</p> <p>35 防振吊り及び支持金物</p> <p>36 防振吊り及び支持金物</p> <p>37 防振吊り及び支持金物</p> <p>38 防振吊り及び支持金物</p> <p>39 防振吊り及び支持金物</p> <p>40 防振吊り及び支持金物</p>		外気条件		室内（調整目標値）						一般		（ ）		温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度		(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	夏季		℃	%	℃	%	℃	%	冬季		℃	%	℃	%	℃	%	<p>⑥ 衛生器具設備</p> <p>① 衛生器具の参考型番</p> <p>2 小便器用節水装置</p> <p>③ 自動水栓</p> <p>4 大便器洗浄弁</p> <p>⑤ 温水洗浄便座</p> <p>⑥ 器具と排水管接続</p> <p>⑦ 給水設備</p> <p>② 配管材料</p> <p>③ 弁類</p> <p>4 水槽のマンホール</p> <p>⑧ 排水設備</p> <p>① 配管材料</p> <p>② 満水試験継手</p> <p>③ バイパスシャフト内配管の保温</p> <p>4 煙試験</p> <p>9 給湯設備</p> <p>2 弁類</p> <p>10 消火設備</p> <p>1 都市ガス設備</p> <p>2 配管材料</p> <p>3 ガスメータ</p> <p>4 バルク貯槽</p> <p>5 容器廻りの配管</p> <p>6 容器転倒防止</p> <p>7 ガス漏れ警報器</p> <p>11 ガス設備</p> <p>12 浄化槽設備</p>	<p>型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小便器一体型 小便器分離型 <ul style="list-style-type: none"> 洗浄水量4リットル/回以下 個別感知方式 AC電源 自己発電 乾電池 <p>手動式</p> <p>電源供給方式</p> <ul style="list-style-type: none"> AC電源 自己発電 乾電池 <p>操作方式</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気開閉式 センサー式 タッチスイッチ式 <p>手動式</p> <p>洗浄用加水方式</p> <ul style="list-style-type: none"> 瞬間式 貯湯式 <p>標準図（施工64）</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準図（施工65） <p>1 量水器</p> <ul style="list-style-type: none"> 親メーター 借用 買取 直読 遠隔表示 <ul style="list-style-type: none"> 子メーター 買取 借用 直読 遠隔表示 <p>(ア)一般配管</p> <ul style="list-style-type: none"> SGP-VB SGP-PB SUS304 SUS316 HIVP 架橋ポリエチレン管 SGP-VA（井水） <p>(イ)土間下配管</p> <ul style="list-style-type: none"> SGP-VD SGP-PD HIVP SUS304 SUS316 <p>(ウ)地中配管</p> <ul style="list-style-type: none"> SGP-VD SGP-PD HIVP SUS304 SUS316 水道配水用ポリエチレン管（75〜100A） 水道用ポリエチレン二層管（50A以下） <p>(エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。</p> <p>(オ)ビニル管の接合方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 接着接合 ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。） <p>(カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下</p> <ul style="list-style-type: none"> 金属製継手 融着継手 75A以上 融着継手 <ul style="list-style-type: none"> 口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。 <ul style="list-style-type: none"> 5K（受水槽以降の配管に使用） 10K（公営水道に直結する配管に使用） 公営水道事業者指定の止水栓又は弁（給水引込部に使用） <p>屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形（二重蓋含む）とする。</p> <p>(ア)屋内汚水管</p> <ul style="list-style-type: none"> VP RF-VP 排水用塩ビライニング鋼管 耐火二層管 <p>(イ)屋外排水管</p> <ul style="list-style-type: none"> VP RF-VP SGP（白） 排水用塩ビライニング鋼管 耐火二層管 <p>(ウ)ポンプ排水管</p> <ul style="list-style-type: none"> VP（水道用） HIVP 排水用塩ビライニング鋼管（圧送排水管用継手） <p>(エ)通気管</p> <ul style="list-style-type: none"> VP RF-VP SGP（白） 排水用塩ビライニング鋼管 耐火二層管 <p>(オ)屋外排水管</p> <ul style="list-style-type: none"> VP RF-VP VU（地中） REP-VU（地中） RS-VU 卵形管 コンクリート管 <p>3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を</p> <ul style="list-style-type: none"> 取付ける 取付けない <p>※ 施工する</p> <ul style="list-style-type: none"> 施工しない <p>※ 行わなくてもよい</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示の系統のみ行う <p>4 煙試験</p> <ul style="list-style-type: none"> SGP-HVA ステンレス鋼管 架橋ポリエチレン管 保温付被覆鋼管 鋼管 <p>湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 5K 10K <p>(ア)一般配管</p> <ul style="list-style-type: none"> SGP（白） STPG <p>(イ)土間下配管</p> <ul style="list-style-type: none"> SGP-VS STPG-VS <p>(ウ)地中配管</p> <ul style="list-style-type: none"> SGP-VS STPG-VS 10K 16K <p>(ア)呼水タンク</p> <ul style="list-style-type: none"> 施工しない 施工する <p>(イ)充水タンク</p> <ul style="list-style-type: none"> 施工しない 施工する <p>(ウ)配管の保温は次による。（屋外露出箇所は種別e・3・（ハ）・Ⅶによる）</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋内消火栓用 スプリンクラー用 連結送水用 連結放水用 <ul style="list-style-type: none"> 広範囲型2号消火栓 易操作性1号消火栓 屋内消火栓 1号 2号 <ul style="list-style-type: none"> 窒素 IG-541 IG-55 HFC-227ea HFC-23 <p>※ 手動</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動手動切替式 <p>都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。</p> <p>(ア)一般配管</p> <ul style="list-style-type: none"> SGP（白） 合成樹脂被覆鋼管 <p>(イ)土間下配管</p> <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂被覆鋼管 <p>(ウ)地中配管</p> <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂被覆鋼管 ガス用ポリエチレン管 <ul style="list-style-type: none"> 親メーター 借用 買取 取付け 別途 本工事 <ul style="list-style-type: none"> 子メーター 買取 借用 取付け 本工事 別途 <ul style="list-style-type: none"> 縦型 横型 借用 買取 <p>標準図（施工73）の</p> <ul style="list-style-type: none"> 要領（a） 要領（b） 要領（c） <p>標準図（施工74）の</p> <ul style="list-style-type: none"> 要領（a） 要領（b） <ul style="list-style-type: none"> 不要 要 別途工事 本工事 <p>小規模合併処理</p> <ul style="list-style-type: none"> 分離接触ばつ気方式 嫌気床接触ばつ気方式 脱窒ろ床接触ばつ気方式 その他性能評価を受けた方式 <p>合併処理</p> <ul style="list-style-type: none"> 接触ばつ気方式 長時間ばつ気方式 回転板接触方式 <ul style="list-style-type: none"> ユニット型 現場施工型 <p>処理対象人員</p> <ul style="list-style-type: none"> 処理水量 m3/d <ul style="list-style-type: none"> 流入BOD 200mg/L 放流水質BOD 20mg/L以下 <ul style="list-style-type: none"> T-N mg/L以下 T-P mg/L以下 <p>※ 自然流下</p> <ul style="list-style-type: none"> ポンプ排水 <ul style="list-style-type: none"> 砂 根切土の中の良質土 <ul style="list-style-type: none"> 不要 要 図示による <p>土留め工事</p> <ul style="list-style-type: none"> マンホールふた MHA型（ボルト式） <p>※ 製造者標準仕様（ロック式）</p> <p>3ヶ月相当分を納入する。</p>
建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																																					
	外気条件		室内（調整目標値）																																																				
			一般		（ ）																																																		
	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度																																																	
	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)																																																	
夏季		℃	%	℃	%	℃	%																																																
冬季		℃	%	℃	%	℃	%																																																
<p>21 鋼管類の防食処置</p> <p>22 絶縁継手</p> <p>23 防振継手</p> <p>24 伸縮管継手</p> <p>25 塗装</p> <p>26 ステンレス鋼管の接合方法</p> <p>27 溶接配管の検査</p> <p>28 埋設表示</p> <p>29 支持金物・固定金具</p> <p>30 総合試運転調整</p> <p>31 アスベスト含有建材の処理</p> <p>32 補修など</p> <p>33 はつり</p> <p>34 はつり工事における非破壊検査</p> <p>35 室内空気中の化学物質の濃度測定</p> <p>36 火災保険等</p> <p>37 グリーン購入</p> <p>38 鳥取県公共工事環境配慮指針</p> <p>39 建築物省エネ法</p> <p>40 耐震施工</p>	<p>地中埋設</p> <ul style="list-style-type: none"> ベトロラタム系 フチルゴム系 熱収縮チューブ及びシート <ul style="list-style-type: none"> 標準図（施工3） (1)絶縁フランジ (2)絶縁シート (3)絶縁スリーブ (4)絶縁ユニオン <p>※ 合成ゴム製（球形）</p> <ul style="list-style-type: none"> ポリテトラフルオロエチレン製 ペローズ形（ステンレス製） <p>※ ペローズ形</p> <ul style="list-style-type: none"> スリーブ形 <p>各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。（さび止め塗装は除く。）</p> <p>(ア)埋設されるもの（ただし、防食塗装部分を除く）</p> <p>(イ)垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面</p> <p>(ウ)垂鉛めっきされたもので、常時隠へいされる部分</p> <p>(エ)垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類</p> <p>(オ)樹脂コーティング等をしたもので、常時隠へいされる部分</p> <p>(カ)カラー垂鉛鉄板面</p> <p>(キ)アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウム-垂鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面</p> <p>(ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面</p> <p>(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の垂鉛め</p>																																																						



工事場所 鳥取県倉吉市福庭町二丁目
 都市計画区域内 (区域区分非設定)
 第一種住居地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域
 (200/60)
 防火地域指定なし

直近確認申請(計画通知)の番号
 ・確認済証:H26.1.23 計済建築倉吉市000006
 ・検査済証:H26.3.12 計済建築倉吉市000007



■ 工事概要一覧表 ■

区分	棟名称等	構造・階数	備考
新築 (増築)	(A) 本館棟 (EV棟)	S造・3階	本館棟に増築 ・多目的トイレ新設 ・居室に換気設備、給気口の設置 (24H換気)

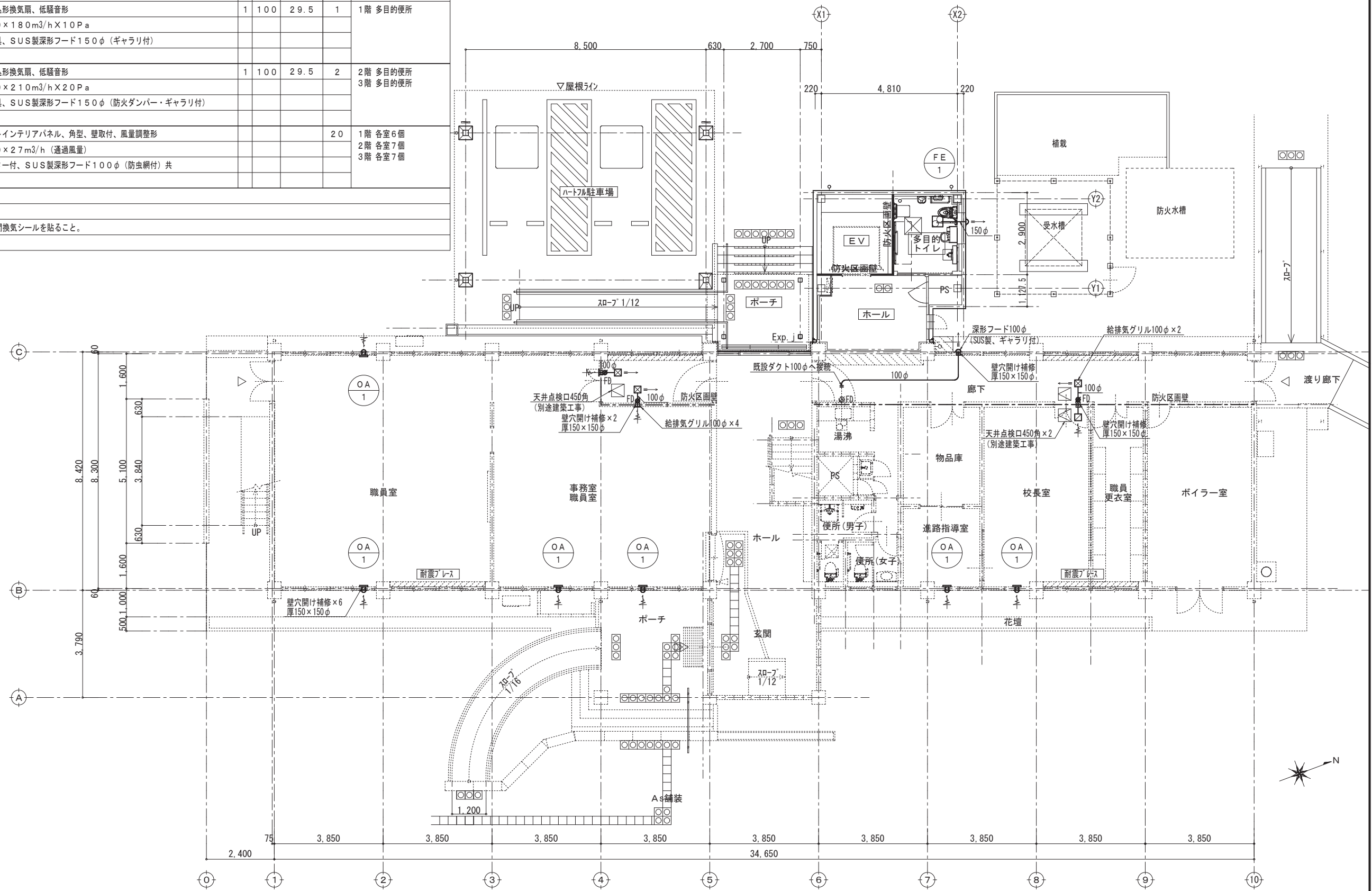
敷地配置図 S=1:400

換気機器リスト

記号	名称	仕様	参考電気容量			数量	設置場所・備考
			φ	V	出力 (W)		
FE-1	排気ファン (24時間換気)	形式	天井埋込形換気扇、低騒音形	1	100	29.5	1階 多目的便所
		風量	Φ150×180m ³ /h×10Pa				
		付属品	天吊金具、SUS製深形フード150φ (ギャラリ付)				
FE-2	排気ファン (24時間換気)	形式	天井埋込形換気扇、低騒音形	1	100	29.5	2階 多目的便所 3階 多目的便所
		風量	Φ150×210m ³ /h×20Pa				
		付属品	天吊金具、SUS製深形フード150φ (防火ダンパー・ギャラリ付)				
OA-1	給気ユニット	形式	フラットインテリアパネル、角型、壁取付、風量調整形				1階 各室6個 2階 各室7個 3階 各室7個
		風量	Φ100×27m ³ /h (通過風量)				
		付属品	フィルター付、SUS製深形フード100φ (防虫網付) 共				

【特記事項】

- SUS製深形フードは指定色塗装品とする。
- 24時間換気の換気機器用スイッチには、24時間換気シールを貼ること。
- 給排気グリルは風量調節機能付とする。

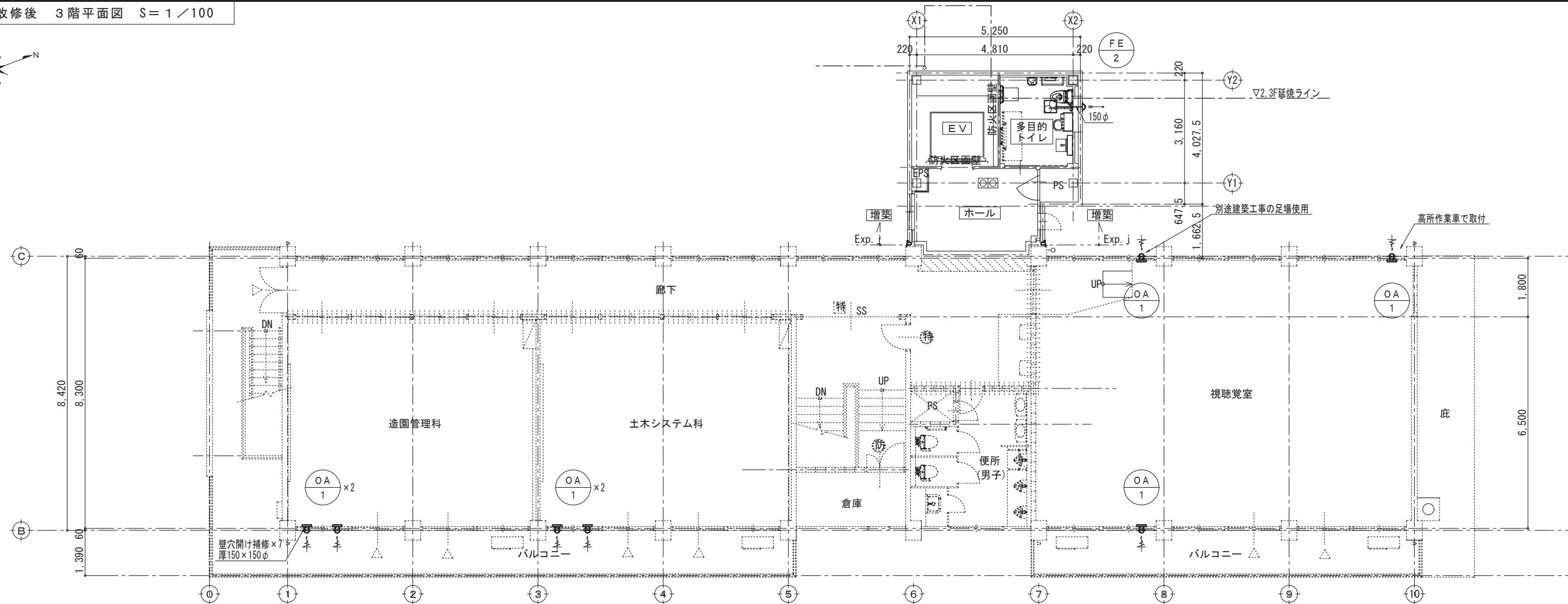


換気設備 改修後 1階平面図 S=1/100

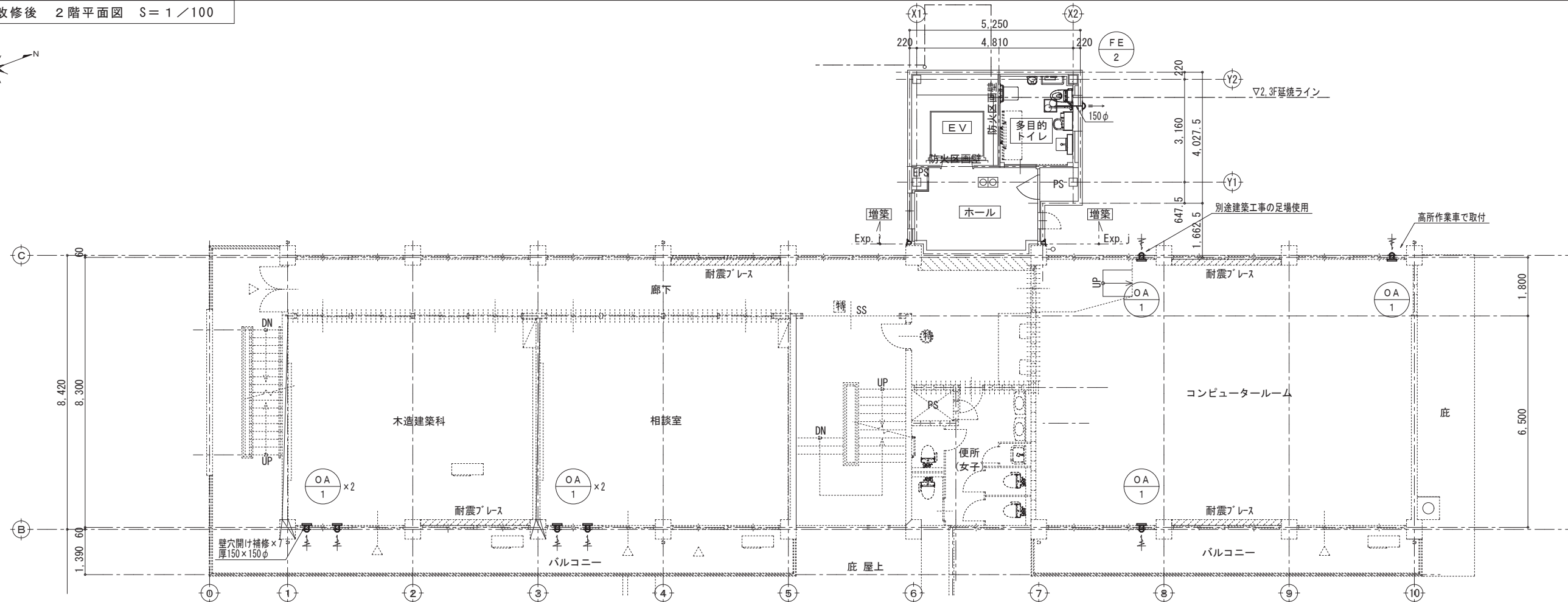


附記	設計年月日	 (有)フジイ総合設計事務所 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町1-4-3番地 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689	管理建築士 竹中 誠 1級建築士 第325872号	名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事 (機械設備)	SCALE 1:100	図面No. M-5
			担当・製図 1級建築士 永田 靖 製図 1級建築士 第379560号	本館棟 換気設備 改修後 1階平面図	12枚の内	

換気設備 改修後 3階平面図 S=1/100



換気設備 改修後 2階平面図 S=1/100



附記 . .	設計年月日	 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町1-4-3番地 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689	管理建築士 第325872号 竹中 誠 担当・製図 1級建築士 第379560号 永田 靖 製図 1級建築士 第 号	名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(機械設備) 本館棟 換気設備 改修後 2、3階平面図	SCALE 1:100	図面No. M-6 12枚の内
			鳥取県 令和6年度 J2400366 総務部営繕課			

衛生器具リスト

名称	品番 <参考品番>	仕様・付属品 <参考品番>	1階 多目的 使用	2階 多目的 使用	3階 多目的 使用	合計	備考
掃除口付洋風大便器	CFS498BYC	タンク式、床排水、壁給水、掃除口付、TCF5841AUP (温水洗浄便座、瞬時式(1260W)、便ふたなし、リモコン(発電タイプ)) HP430-7 (床排水フランジ)、YH702 (柵付二連紙巻器)、背もたれ (EWC283CR、壁・軽鉄骨固定)	1	1	1	3	
壁掛形汚物流しユニット	UAS81RSC2NW	電気温水器 (AC100V)、紙巻器、鏡、レバーなし、UTR141×2 (側板両面)	1	1	1	3	
壁掛洗面器	LSA125AN	TENA125A (自動水栓、AC100V、壁給水)、T6PM16 (壁排水金具)	1	1	1	3	
化粧鏡	YM6090A	600×900 (壁固定・木下地)	1	1	1	3	
化粧鏡	YM3580AC	350×800 (壁固定・木下地)、面取りタイプ	1	1	1	3	
手すり	T112HK7R	可動式手すり (ロック付)、T110D36×1、T110D53×1 (ボルト固定・軽量鉄骨下地)	1	1	1	3	
手すり	T112CLS-1	L型手すり (650W×700H×230D)、T110D37×3、T110D44×3 (ボルト固定・軽鉄骨下地)	1	1	1	3	
手すり	T112C5	I型手すり、T110D37×2、T110D44×2 (ボルト固定・軽量鉄骨下地)	1	1	1	3	
フィッティングボード	YKA41R	付属品 (壁固定・木下地)	1	1	1	3	
収納式多目的シート	EWC520ARN	グリップ付き、付属品 (床固定・コンクリート下地)	1	1	1	3	
ペビーチェア	YKA15S	平壁設置、YPH62017W2R (床固定・コンクリート下地)、付属品 (壁固定・木下地)	1	1	1	3	
※器具取り付け部の補強は建築工事とする。(手すり、紙巻器などのバリアフリー設備の取付寸法は建築図による)							

汚水柵寸法リスト

記号	柵種	仕様及び参考寸法		柵深さ(管底)	蓋	備考
①	小口径柵	100-150、90L	塩ビ製	480	防護蓋 (T-8)	
②	〃	100-150、90Y	〃	500	〃	
③	〃	100-150、90Y	〃	520	〃	
④	〃	125-200、VT	〃	960	〃	
⑤	インバート柵	150-600φ、90Y	RC製	1,030	MHA	既設再利用 (MHA蓋撤去・新設)
⑥	小口径柵	150-200、ST	塩ビ製	1,180	防護蓋 (T-8)	
⑦	インバート柵	250-800φ、90WYS	RC製	1,270	MHA	既設再利用

※リストに記入の柵深さ (GL-基準) は参考寸法とする。

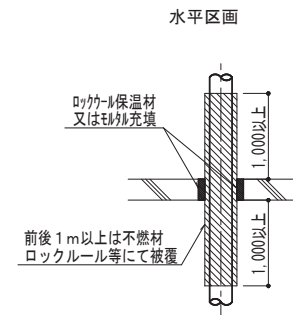
雨水柵寸法リスト

記号	柵種	仕様及び参考寸法		柵深さ(管底)	蓋	備考
A	ため柵	350×350、100φ	RC製	440	RC蓋	泥溜め150H
B	〃	450×450、125φ	〃	500	MHB	〃
C	〃	450×450、125φ	〃	560	〃	〃
D	〃	500×500、125φ	〃	600	MHA	〃
E	〃	500×500、125φ	〃	740	〃	〃
F	〃	600×600、125φ	〃	850	〃	〃

※リストに記入の柵深さ (GL-基準) は参考寸法とする。

衛生設備凡例

記号	名称	摘要
———	給水管	(屋内一般) 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB) (JWWA K 116) (屋外地中) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) (JIS K 6742)
———	汚水・雑排水管	(屋内・屋外地中) 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (JIS K 6741) (屋内一般) 耐火二層管 (VP)、65A以上 (JIS K 6741)
-----	通気管	(屋内一般) 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (JIS K 6741) (屋内一般) 耐火二層管 (VP)、65A以上 (JIS K 6741)
⊗	給水栓	器具リストによる
—GV—	仕切弁	形状・大きさは図示による (JIS K 9798)
-----		既設配管接続

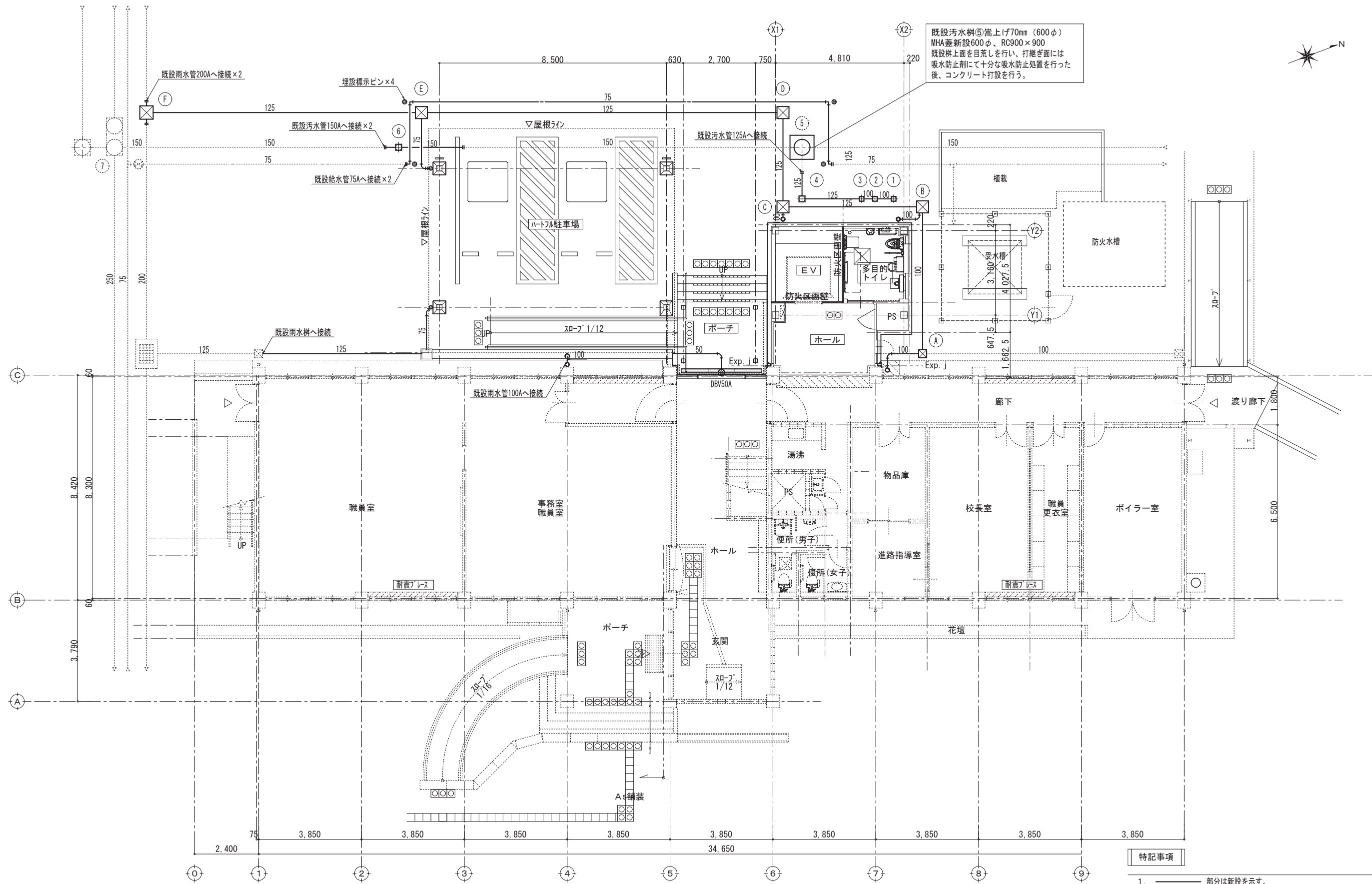


※硬質塩化ビニル管の防火区画等の貫通については、65A及び100A以上が適用となる。

(令第129条の2の5 第1項七号イによる場合)

※2・3階の床貫通部が対象

配管の防火区画貫通部施工要領図



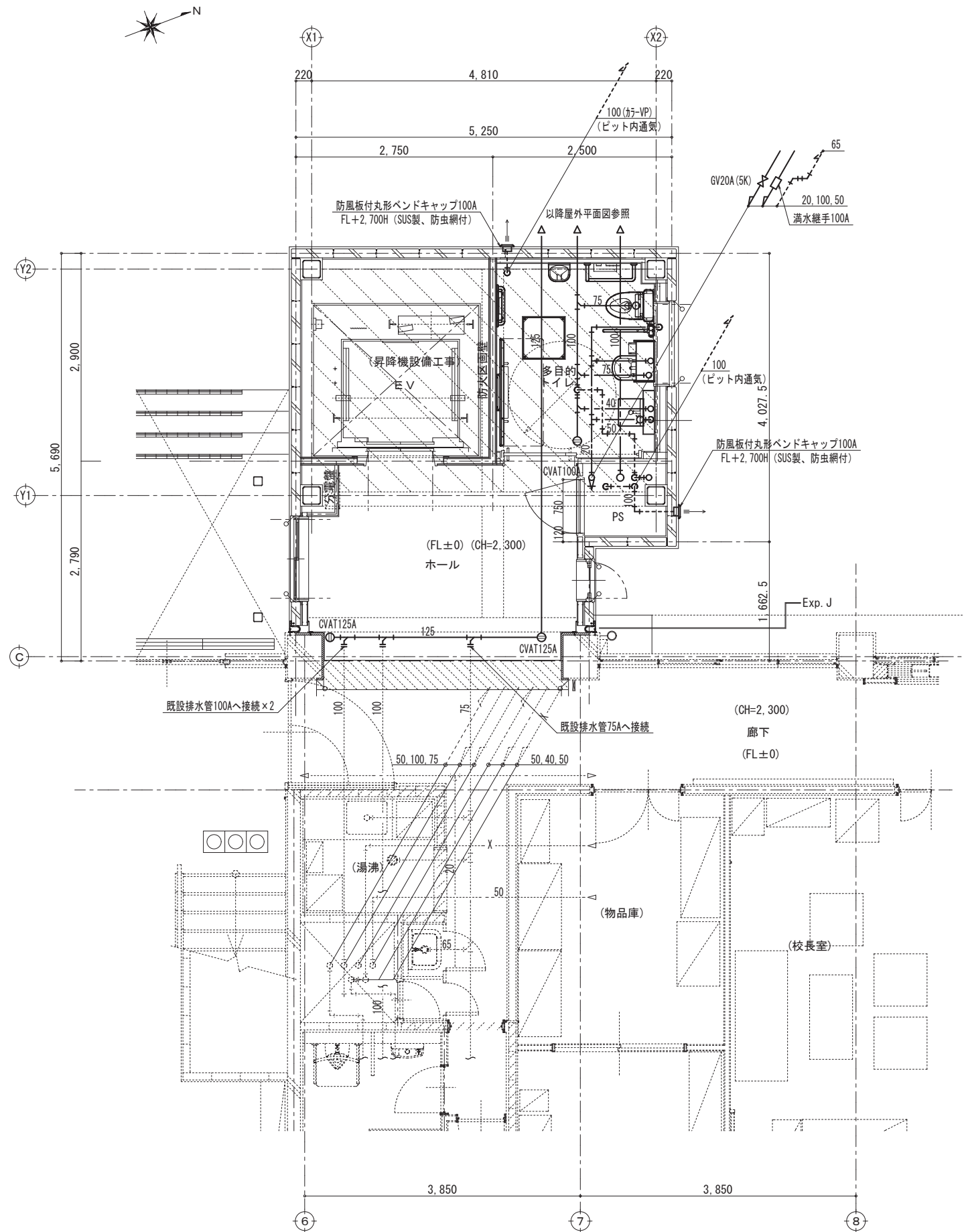
既設汚水樹⑤高上げ70mm (600φ)
MHA蓋新設600φ、RC900×900
既設樹上面を目荒しを行い、打継ぎ面には
吸水防止剤にて十分な吸水防止処置を行った
後、コンクリート打設を行う。

給排水衛生設備 改修後 屋外平面図 S=1/100

- 特記事項
1. ー 部分は新設を示す。
 2. - - - 部分は既設配管を示す。
 3. アスファルト舗装は別途建築工事とする。
 4. 掘削の際に既設配管を破損しないよう十分に気を付けて作業を行うこと。
 5. 屋外給水管の切り直し及び雨水管の施工は駐車場基礎工事と並行して行うこと。

鳥取県
令和6年度
J2400366
総務部営繕課

附記	設計年月日	〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689	管理建築士 竹中 誠 1級建築士 第325872号	名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事 (機械設備)	SCALE 1:100	図面No. M-8
			担当・製図 永田 靖 1級建築士 第379560号	製図 1級建築士 第 号	本館棟 給排水衛生設備 改修後 屋外平面図	12枚の内



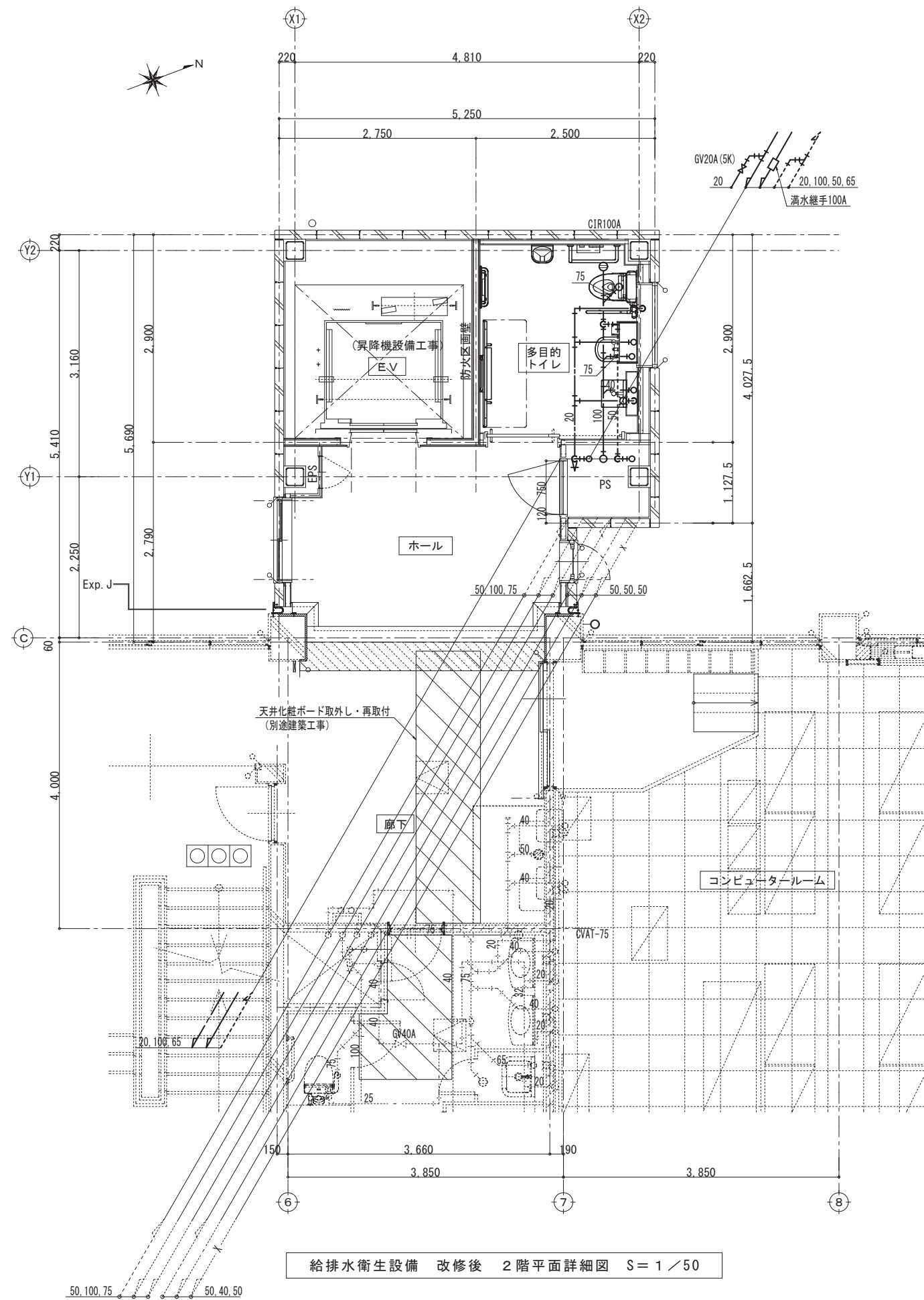
給排水衛生設備 改修後 1階平面詳細図 S=1/50

特記事項

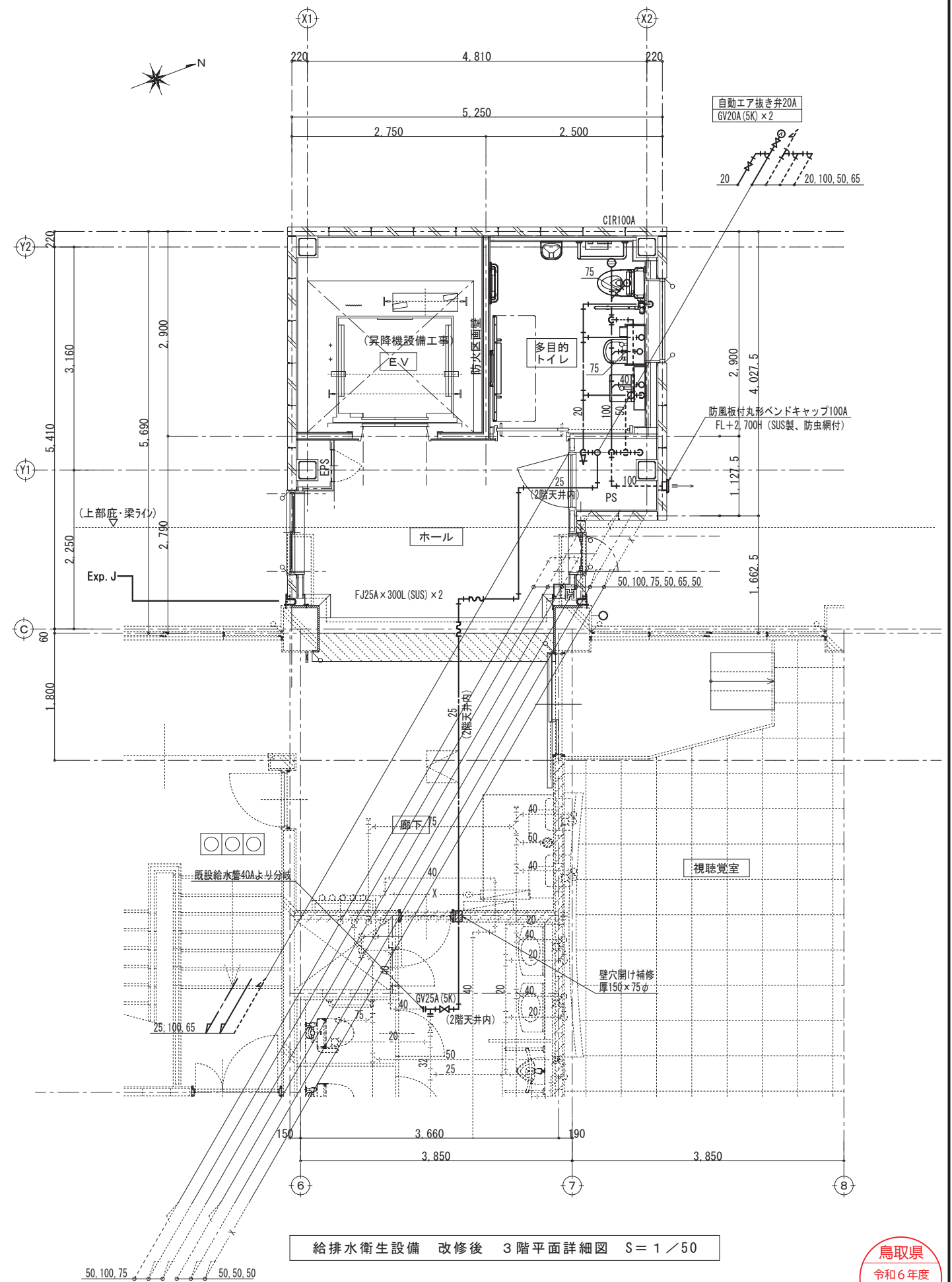
1. 部はピット内を示す。
2. 部は新設器具・配管を示す。

鳥取県
令和6年度
J2400366
総務部営繕課

附記	設計年月日	(有)フジイ総合設計事務所 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689	管理建築士 竹中 誠	名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事 (機械設備) 本館棟 給排水衛生設備 改修後 1階平面詳細図	SCALE	図面No. M- 9 / 12 枚の内
					1級建築士 第325872号	
			担当・製図 永田 靖			
			1級建築士 第379560号			
			製図 第 号			
			1級建築士 第 号			



給排水衛生設備 改修後 2階平面詳細図 S=1/50



給排水衛生設備 改修後 3階平面詳細図 S=1/50

附記	設計年月日


(有)フジイ総合設計事務所
 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地
 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689

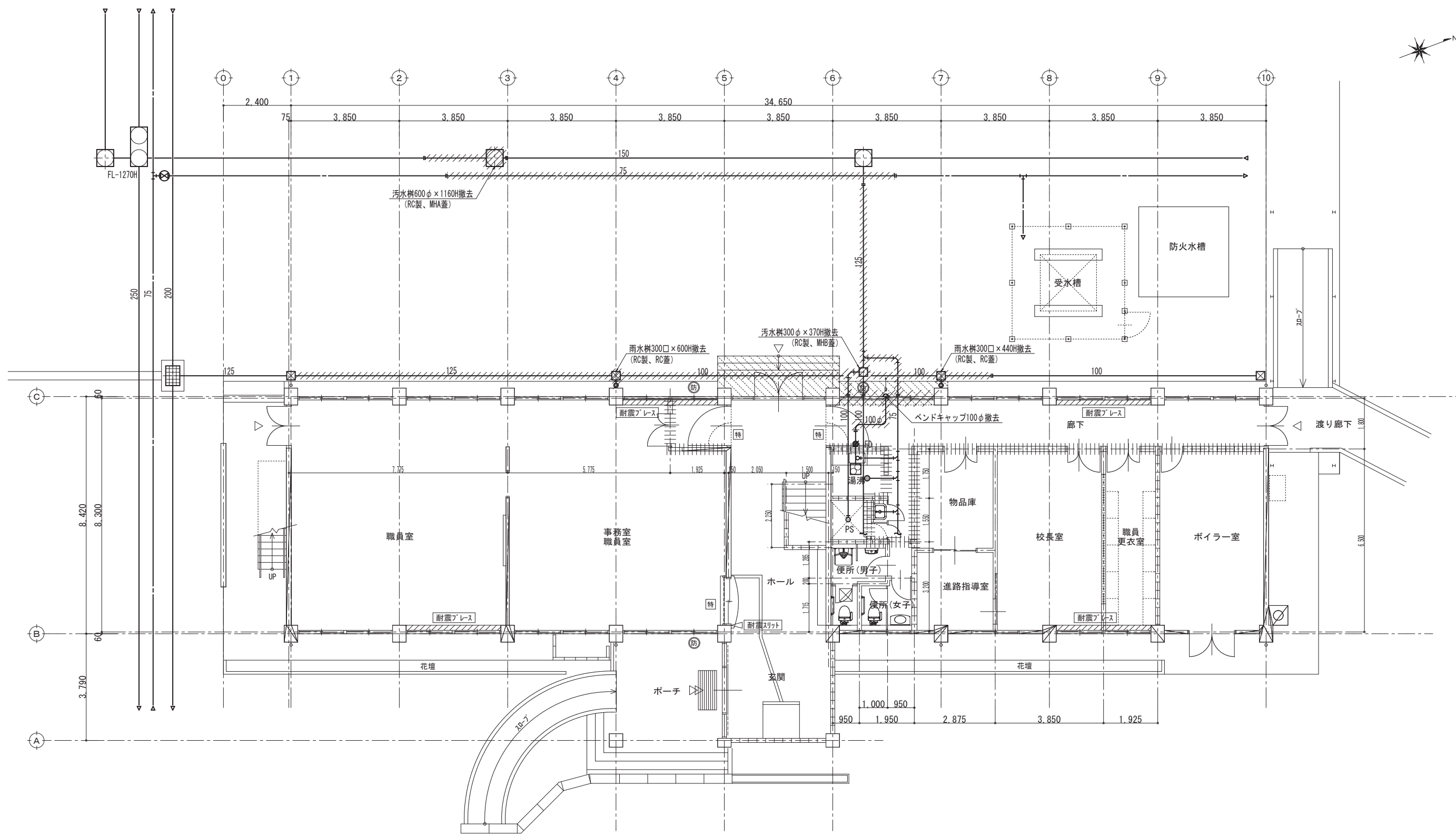
管理建築士	第325872号	竹中 誠
1級建築士	第379560号	永田 靖
担当・製図		
1級建築士	第 号	
製図		
1級建築士	第 号	

名称	産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(機械設備)
本館棟	給排水衛生設備 改修後 2、3階平面詳細図

SCALE	1:50
-------	------

図面No.	M-10
枚の内	12





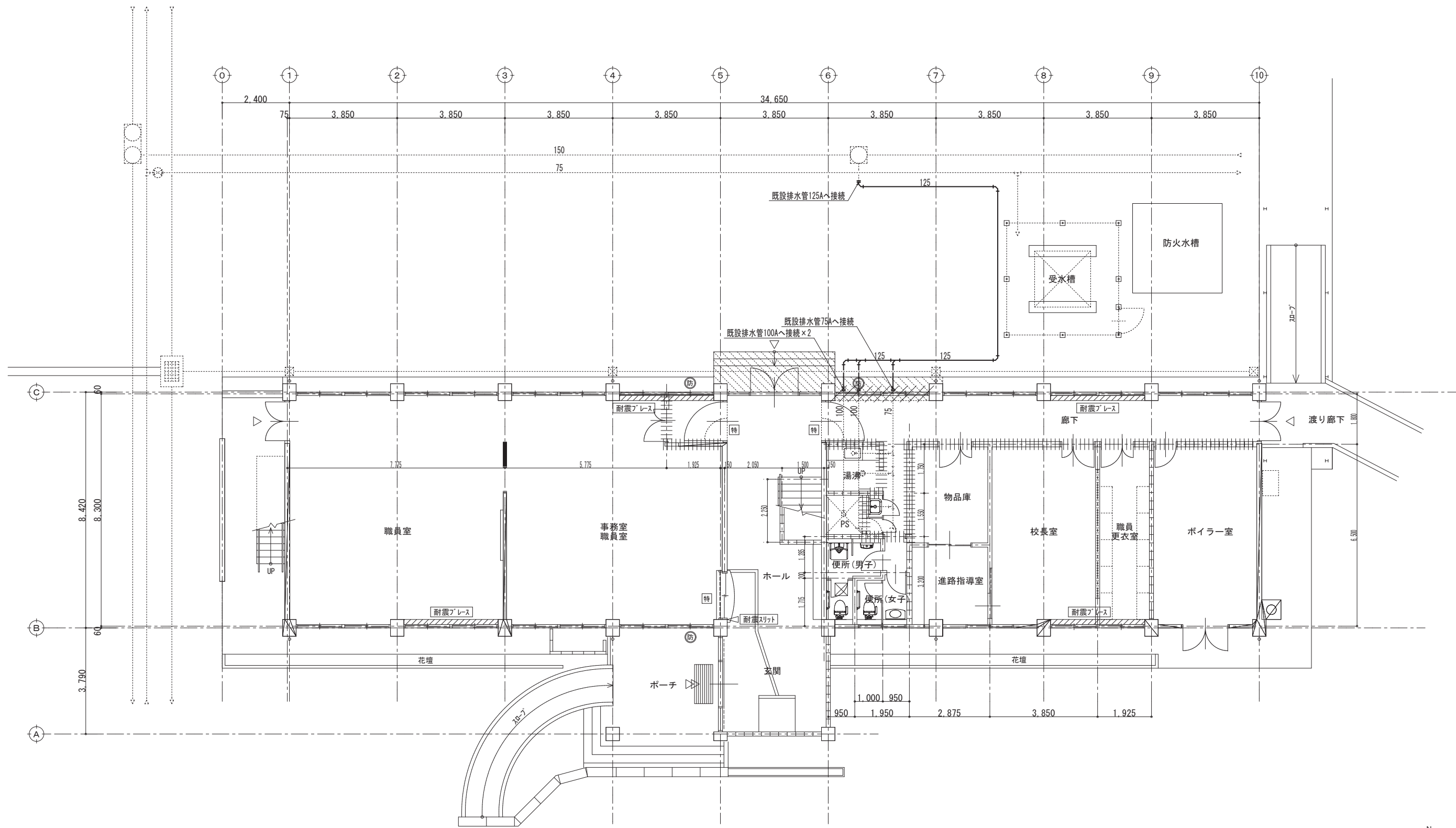
換気・衛生設備 撤去 1階、屋外平面図 S=1/100

特記事項

1. 部分は撤去を示す。
2. 部分は既設再利用を示す。
3. 撤去の際に既設配管を破損しないよう十分に気を付けて作業を行うこと。
4. 屋外汚水管は仮設管設置後、撤去を行うこと。(M-12参照)



附記 	設計年月日 	 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689	管理建築士 竹中 誠 1級建築士 第325872号 担当・製図 永田 靖 1級建築士 第379560号 製図 1級建築士 第 号	名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事 (機械設備) 本館棟 換気・衛生設備 撤去 1階、屋外平面図	SCALE 1:100 図面No. M-11 / 12 枚の内
	備考 		備考 	備考 	備考



凡例 (仮設)

記号	名称	仕様
—	仮設排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741

特記事項

- 仮設配管は多目的便所増築工事（建築工事）の支障にならない位置に施工及び移設すること。

仮設工事 屋外平面図 S=1/100



附記 . .	設計年月日 . .	 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689	管理建築士 竹中 誠 1級建築士 第325872号 担当・製図 永田 靖 1級建築士 第379560号 製図 1級建築士 第 号	名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事（機械設備） 本館棟 仮設工事 屋外平面図（排水）	SCALE 1:100 図面No. M-12 / 12 枚の内
--------------	-----------------	------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------	------------------------------------